

| 使用教科書 | 使用補助教材 | 教科担当者 | 単位数 |
|-------------------------------------|------------------------------|--|----------------|
| 国語1 (光村図書) 中学書写1, 2, 3 (光村図書) | 新基礎の学習1 (新学社) 国語便覧 (浜島書店) | 1,2,3組 丸山 涼子 4組 後藤 俊典 5,6,7組 佐藤 章典 | 週4時間 年140時間 |

1 教科目標

- (1) 自分の考えを大切にし、目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする能力を高め、話し言葉を大切にしようとする態度を育てる。
- (2) 必要な材料を基にして自分の考えをまとめ、的確に書き表す能力を高めるとともに、進んで書き表そうとする態度を育てる。
- (3) 様々な種類の文章を読み、内容を的確に理解する能力を高めるとともに、読書に親しみ、ものの見方や考え方を広げようとする態度を育てる。

2 評価の観点と評価方法

| 観 点 | 観 点 ご と の め あ て |
|----------|--|
| | 評 価 の 方 法 |
| 関心・意欲・態度 | 国語に関心を持ち、授業に真剣に取り組むことができる。 授業への参加姿勢、課題への取り組み方、提出物など |
| 話す・聞く力 | 目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりすることができる。 授業中の発表の様子、音読や朗読、聞き取りテストなど |
| 書く力 | さまざまな材料をもとに、自分の立場を明らかにして論理的に書くことができる。 定期考査、授業中のノート、意見文、夏休みの課題など |
| 読む力 | 目的や意図に応じて文章を読み、効果的に活用することができる。 定期考査、授業中のノート、発表内容など |
| 言語事項 | 漢字や言葉を正しく使うとともに、文字の配列に配慮し調和よく書くことができる。 定期考査、漢字や文法の小テスト、書写作品など |

3 学習計画

【1学期】

| 月 | 題 材 | 時数 | 学 習 の ね ら い | 備 考 |
|----|--|---------------------------------|--|-----------------------|
| 4 | ○ オリエンテーション ○ 言葉に出会うために ・ 野原はうたう ・ 書きとめる/本と出会う/調べる ・ 書写1 楷書を書こう 1 学びをひらく | 1 3 2 3 | ・ 授業での準備物、約束を確認する。 ・ 表現の特徴を考えて朗読する。 ・ 図書室の活用方法を知る。 ・ 硬筆で字形を整えて書く。 | 仙台市標準学力検査 4月11日(木) |
| 5 | ・ 花曇りの向こう ・ わかりやすく説明しよう ・ 情報を正確に聞き取ろう ・ 漢字の組み立てと部首 2 新しい視点へ | 4 5 1 2 | ・ 僕の気持ちの変化を捉える。 ・ 観点を決め、分かりやすい文章を書く。 ・ 聞き取りメモの取り方を理解する。 ・ 漢字の組み立てと部首を理解する。 | |
| 6 | ・ ダイコンは大きな根? ・ ちょっと立ち止まって ・ 記録の仕方を工夫する ・ 「好きなもの」を紹介する ・ 書写2 楷書を書こう ・ 情報の集め方を知ろう ・ 話し言葉と書き言葉 ○ 意見文を書こう | 4 4 1 3 3 2 1 | ・ 段落の役割の違いに気付く。 ・ 段落の関係に注意し、構成を捉える。 ・ 工夫した記録の仕方を理解する。 ・ 聞き手に分かりやすいスピーチをする。 ・ 文字の大きさと配列を確かめる。 ・ 情報の読み取り方を理解する。 ・ 話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 ・ 立場や根拠を明確にして書く。 | 1学期中間考査 6月18日(火) |
| 7 | 3 言葉をつなぐ ・ 詩の世界 ・ 言葉を集めよう ・ 空を見上げて ・ 書写3 楷書を書こう ・ 言葉のまとまりを考えよう | 2 1 1 2 2 | ・ 詩の表現をもとに、作者の思いに触れる。 ・ 好きな食べ物を推薦する文を書く。 ・ 言葉の持つ力について考えを深める。 ・ 暑中見舞いを書く。 ・ 言葉の単位と働きを理解する。 | 第1回実力考査 8月22日(木) |
| 8 | ○ 読書生活を豊かに ・ 光る地平線 | 2 | ・ 作品に書かれているものの見方や考え方を捉え、自分のものの見方や考え方を広げる。 | |
| 9 | 4 つながりの中で ・ 星の花が降るころに | 5 | ・ 情景描写や人物描写に着目して、登場人物の心情の変化を捉える。 | 1学期期末考査 9月17日(火) |
| 10 | ・ 大人になれなかった弟たちに… ・ 書写4 行書を書こう | 4 2 | ・ 行書の特徴を知る。 | 18日(水) |

【2学期】

| 月 | 題 材 | 時数 | 学 習 の ね ら い | 備 考 |
|----|--|----------------------------|--|-------------------------------|
| 10 | <ul style="list-style-type: none"> ・ わかりやすい案内文を書く ・ シカの「落ち穂拾い」 ・ 調べたことを報告しよう ・ 漢字の音訓 ・ 指示する語句と接続する語句 | 1 5 3 2 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 相手に分かりやすい案内文を書く。 ・ 図表と併せて文章を読む。 ・ 書き方や構成を工夫する。 ・ 音読み，訓読みを理解する。 ・ 指示する語句と接続する語句を理解する。 | 読書感想文コンクール |
| 11 | <ul style="list-style-type: none"> 5 いにしへの心にふれる ・ いろは歌 ・ 月に思う ・ 蓬萊の玉の枝 ・ 今に生きる言葉 6 論点をとらえる ・ 幻の魚は生きていた | 1 1 4 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 古典の世界に触れ，見方を広げる。 ・ 古典が読み継がれてきたことを知る。 ・ 古典の文章に読み慣れる。 ・ 中国の言葉が生き続けていることを知る。 | 2学期中間考査 11月18日(月) |
| 12 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 流れを踏まえて話し合う ・ 話題をとらえて話し合おう ・ 書写5 書きぞめ ・ 感じたことを整理する ・ 鑑賞文を書く ・ 竹 | 1 5 8 1 4 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 文章の中心となる部分を読み取る。 ・ 話題や方向をとらえて話し合う。 ・ グループディスカッションを行う。 ・ 行書の特徴を理解し作品を作る。 ・ 観点を立てて整理する。 ・ 作品の魅力が伝わるような文章を書く。 ・ 表現の特徴をとらえる。 | 第2回実力考査 1月9日(木) 校内書きぞめ展 |
| 2 | <ul style="list-style-type: none"> ○読書に親しむ ・ 桜守三代 ・ 言葉の関係を考えよう 6 自分を見つめて ・ 少年の日の思い出 ・ さまざまな表現技法 ・ 漢字の成り立ち | 1 3 5 1 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 登場人物の生き方や考え方をとらえる。 ・ 文節どうしの関係を理解する。 ・ 登場人物の心情の変化をとらえる。 ・ さまざまな表現技法を理解する。 ・ 漢字の作り方を理解する。 | 学年末考査 2月12日(水) 13日(木) |
| 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 印象深く思いを伝えよう ・ 単語の性質を見つけよう ・ 1年間の学びを振り返ろう ・ ぼくがここに ・ 漢字の練習 ・ 書写6 広げよう書写の輪 | 3 3 3 1 2 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 相手意識・目的意識を持って書く。 ・ 単語の分類のしかたを理解する。 ・ ポスターセッションをする。 ・ 作者の思いを想像しながら読む。 ・ 小学校6年生で学習した漢字を書く。 ・ 学校生活に役立つものを作る。 | |

4 授業への取り組み方，準備物

- ・ 1時間ごとの課題やねらいをしっかりと確認して授業に臨むことが大切です。
- ・ 言葉や表現をもとに，自分で考えたり想像したりすることが重要です。
- ・ 忘れ物をしないように気を付け，提出物の期限を守るよう心掛けましょう。
- ・ 友達の発表をしっかりと聞いて，自分の考えと比べたり広げたりしましょう。
- ・ 黒板に書かれたものをノートに写すことだけに集中しないようにしましょう。
- ・ 常に国語辞典を準備し，活用することで語彙力が向上します。

○ 準備物

| |
|-----------------------|
| 教科書，ノート，ワーク，ファイル，国語辞典 |
|-----------------------|

 → 5点セット

- ・ 他に題材によって，国語便覧が必要です。(授業で指示します)
- ・ ノートは通常のものでB5版をすすめます。(ルーズリーフは使わない)

5 家庭での学習方法

- (1) 授業で配付される漢字練習プリントを丁寧に練習しましょう。別に漢字練習ノートを準備すると定着率が向上します。ただ回数をこなすだけでなく，他の言葉と関連させて覚えることで語彙力が向上します。
- (2) 教科書をしっかりと読みましょう。読めないところがなくなるまで，できるだけ声を出して読みましょう。意味が分からないものは，積極的に調べましょう。
- (3) 新聞や本など，活字を読む習慣を付けましょう。そして，自分がどう感じたか，どう考えるかを簡潔に頭の中でまとめる習慣を付けましょう。
- (4) ワークブックの問題を丁寧に解きましょう。しっかりと考えて記入することが大切です。勘やだいたいでなく，自分なりの根拠をきちんと持って解きましょう。
- (5) どんな力を付けたいのか，自分でしっかりと考えましょう。国語という教科は範囲が広いのです。どんな力を付けたいかによって，勉強の仕方も変わります。困ったときは，担当の先生に必ず相談してください。

第2学年 国語科指導計画表

| 使用教科書 | 使用補助教材 | 教科担当者 | 時数 |
|-------------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|----------------|
| 国語2 (光村図書) 中学書写1, 2, 3 (光村図書) | 新基礎の学習国語2 (新学社) 国語便覧 (浜島書店) | 1, 2, 3組 佐々木華織 4, 5, 6組 後藤 俊 | 週4時間 年140時間 |

1 教科目標

- 自分の考えを大切にし、目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする能力を高め、話し言葉を大切にしようとする態度を育てる。
- 必要な材料をもとにして自分の考えをまとめ、的確に書き表す能力を高めるとともに、進んで書き表そうとする態度を育てる。
- 様々な種類の文章を読み、内容を的確に理解する能力を高めるとともに、読書に親しみ、ものの見方や考え方を広げようとする態度を育てる。

2 評価の観点と評価方法

| 観 点 | 観 点 ご と の め あ て |
|----------------|--|
| | 評 価 の 方 法 |
| 関心・意欲・態度 | 国語に関心を持ち、授業に真剣に取り組むことができる。 授業への参加姿勢、課題への取り組み方、提出物など |
| 話 す ・ 聞 く 力 | 目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりすることができる。 授業中の発表の様子、音読や朗読、聞き取りテストなど |
| 書 力 く | 様々な材料をもとに、自分の立場を明らかにして論理的に書くことができる。 定期考査、授業中のノート、意見文、夏休みの課題など |
| 読 力 む | 目的や意図に応じて文章を読み、効果的に活用することができる。 定期考査、授業中のノート、発表内容など |
| 言 語 事 項 | 漢字や言葉を正しく使うとともに、文字の配列に配慮し調和よく書くことができる。 定期考査、漢字や文法の小テスト、書写作品など |

3 学習計画

【1学期】

| 月 | 題 材 | 時数 | 学 習 の ね ら い | 備 考 |
|---|---|--------|--|-----------------------|
| 4 | ○ オリエンテーション 1 広がる学びへ ・ 見えないだけ ・ アイスプラネット | 1 | ・ 授業での準備物、約束を確認する。 ・ 言葉や表現の特徴に着目して読む。 | 仙台市標準学力検査 4月11日(木) |
| 5 | ・ 枕草子 ・ 要点を整理して聞き取る ・ 漢字1 熟語の構成 | 2 3 | ・ 登場人物の言動や心情を表す表現 などに注意して作品を読み取る。 ・ 作者の四季の捉え方や感じ方につ いて自分の考えを持つ。 | |
| | ○ 書写 点画の省略 | 3 | ・ 話の要点や順序を整理して聞き取る。 ・ 熟語の構成の種類を理解する。 | |
| | 2 多様な視点から | 4 | ・ 点画の省略を理解して書く。 | |
| | ・ 生物が記録する科学— バイオロギングの可能性 | 2 | ・ 説明の仕方や特徴を捉え、もの の見方や考え方を広げる。 | |
| | ・ 説明の仕方を工夫する | 4 | ・ 説明の仕方を考えながら文章を書く。 | |
| | ・ 魅力的な提案をしよう プレゼンテーションをする | 2 | ・ 資料や機器を活用し、写真などと 言葉を組み合わせる説明する。 | |
| 6 | ・ メディアと上手に付き 合うために/情報コラム/ 著作権について知る | 2 | ・ メディアとの付き合い方について 自分の考えを持つ。 | |
| | ・ 言葉1/類義語, 対義語, 多義 語 | 1 3 | ・ 類義語, 対義語, 多義語の用法を 理解し, 語彙を豊かにする。 ・ 筆順の変化を理解して書く。 | |
| | ○ 書写 筆順の変化 | 4 | ・ 文章の描写の効果を理解し, 情景 を想像しながら読み味わう。 | |
| | 3 言葉と向き合う | 1 | ・ 言葉の持つ意味を考え, 語感を磨く。 ・ 自立語の品詞の性質を理解する。 | |
| 7 | ・ 新しい短歌のために 短歌を味わう | 2 | | 1 学期中間考査 6月18日(火) |
| | ・ 言葉を比べよう/言葉の力 | 7 | ・ 聞き手を意識し, 意見文を書く。 ・ 聞き手を意識し, 発表する。 | 実力考査 |
| | ・ 文法への扉1 単語をどう分ける? ・ 根拠を明確にして意見 を書こう | 4 | ・ 作品に込められたもの の見方や感じ方を捉え, 自 分の考えを深める。 | |

| | | | | |
|---|----------------|---|---------------------|----------|
| 8 | 【読書生活を豊かに】 | | ・ 1年生に向けた読書案内を作る。 | 8月22日(木) |
| 9 | ・ 世界で一番の贈り物 | 2 | ・ 行書の書き方を覚え練習する。 | |
| ○ | ・ 二年一組のお薦め三十五冊 | 3 | | |
| 4 | 書写 行書の練習 | | ・ 登場人物の人物像や思いを読み取る。 | 1学期期末考査 |
| | 関わりの中で | 4 | ・ 言葉の使い方や表記に誤りのない | 9月17日(火) |
| | ・ 盆土産 | 3 | 文章にする。 | 18日(水) |
| | ・ 字のない葉書 | 1 | ・ 手紙の書き方について理解する。 | |
| | ・ 推敲して適切な文章に直す | 3 | | |
| | ・ 気持ちを込めて書こう | | | |

【2学期】

| 月 | 題 材 | 時数 | 学 習 の ね ら い | 備 考 | |
|----|--------------------|----|----------------------------------|-----------------------------|----------------------------|
| 10 | ・ モアイは語る | 4 | ・ 段落に着目し、文章の構成を捉えながら筆者の意見を読み取る。 | 読書感想文コンクール | |
| | ・ 言葉2 敬語 | 1 | ・ 丁寧語・尊敬語・謙譲語を理解する。 | | |
| | ・ 漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字 | 1 | ・ 同音異義語の意味や用法について理解する。 | | |
| ○ | 書写 行書と仮名のまとめ | 2 | ・ 行書に調和する仮名を書く。 | | |
| | 楷書と行書の使い分け | 1 | ・ 楷書と行書を選択する必要があることを理解する。 | | |
| 5 | いにしへの心を訪ねる | 1 | ・ 古文の文章の特徴を理解する。 | | |
| 11 | ・ 音読を楽しもう/平家物語 | 1 | ・ 場面の状況や人物の心情を読み取る。 | | |
| | ・ 扇的 平家物語から | 4 | ・ 漢詩特有の表現について理解する。 | | |
| | ・ 仁和寺にある法師 | 3 | | | |
| | ・ 漢詩の風景 | 3 | | | |
| 6 | 論理を捉えて | | | 2学期中間考査 11月18日(月) | |
| | ・ 君は「最後の晩餐」を知っているか | 4 | ・ 各まとまりの内容を読み取り、段落の役割について考える。 | | |
| | ・ 相手の考えを踏まえて発言する | 1 | ・ 相手の考えを踏まえて、話し合いを効果的に進める。 | | |
| 12 | る | 1 | ・ 互いの発言を検討しながら、自分の考えを広げる。 | | |
| | ・ 話し合っって考えを広げよう | 8 | ・ 行書の筆使いや字形、筆脈に気を付け、文字の調和を考えて書く。 | | |
| ○ | 書写「書きぞめ」 | 1 | ・ 用言の活用について理解する。 | | |
| | ・ 落葉松 | 3 | ・ 多様な方法で選んだ本の考え方について自分の考えを持つ。 | | |
| | ・ 文法への扉2 | 4 | | | |
| 1 | 【読書に親しむ】 | | | | 実力考査 1月9日(木) 校内書きぞめ展 |
| | ・ 小さな町のラジオ発一 | | | | |
| | 臨時災害放送局「りんごラジオ」 | | | | |
| | ・ 読書案内 | | | | |
| 7 | 表現を見つめて | 7 | ・ 描写や会話に注目して、登場人物像の変化を捉える。 | | |
| | ・ 走れメロス | 3 | ・ 付属語(助動詞・助詞)を理解する。 | | |
| | ・ 文法への扉3 | | ・ 文章の構成や描写を工夫して書く。 | | |
| 2 | 一字違いで大違い | 5 | ・ 書いた文章を読み合い、自分の表現に役立てる。 | | |
| | ・ 表現のしかたを工夫して書こう | | ・ 方言と共通語の役割を理解する。 | | |
| | 「ある日の自分」の物語を書く | 2 | ・ 事例と主張の関係を理解する。 | | |
| 3 | ・ 言葉3 方言と共通語 | 4 | ・ 送り仮名の付け方の原則を理解する。 | 学年末考査 2月12日(水) 13日(木) | |
| | ・ 科学はあなたの中にある | 1 | ・ 一年間のまとめをする。 | | |
| | ・ 漢字3 送り仮名 | 6 | | | |
| | ・ 一年間の学びを振り返ろう | | | | |

4 授業への取り組み方、準備物

- ・ 1時間ごとの課題やねらいをしっかりと確認して授業に臨むことが大切です。
- ・ 言葉や表現をもとに、自分で考えたり想像したりすることが重要です。
- ・ 忘れ物をしないように気を付け、提出物の期限を守るよう心掛けましょう。
- ・ 友達の発表をしっかりと聞いて、自分の考えと比べたり広げたりしましょう。
- ・ 黒板に書かれたものをノートに写すことだけに集中しないようにしましょう。
- ・ 常に国語辞書を準備し、活用することで語彙力が向上します。

○ 準備物

教科書、ノート、ワーク、ファイル、国語辞典

→ 5点セット

- ・ 他に題材によって、国語便覧が必要です。(授業で指示します。)
- ・ ノートは通常のものでB5版をすすめます。(ルーズリーフは使わない。)

5 家庭での学習方法

- (1) 授業で配付される漢字練習プリントを丁寧に練習しましょう。別に漢字練習ノートを準備すると定着率が向上します。ただ回数をこなすだけでなく、他の言葉と関連させて覚えることで語彙力が向上します。
- (2) 教科書をしっかり読みましょう。読めないところがなくなるまで、できるだけ声を出して読みましょう。意味が分からないものは、積極的に調べましょう。
- (3) 新聞や本など、活字を読む習慣を付けましょう。そして、自分がどう感じたか、どう考えるかを簡潔に頭の中でまとめる習慣を付けましょう。
- (4) ワークブックの問題を丁寧に解きましょう。しっかりと考えて記入することが大切です。勘やだいたいではなく、自分なりの根拠をきちんと持って解きましょう。
- (5) どんな力を付けたいのか、自分でしっかり考えましょう。国語という教科は範囲が広いのです。どんな力を付けたいかによって、勉強の仕方も変わります。困ったときは、担当の先生に必ず相談してください。

第3学年 国語科指導計画表

| 使用教科書 | 使用補助教材 | 教科担当者 | 時数 |
|-------------------------------------|------------------------------|-----------------------------|----------------|
| 国語3 (光村図書) 中学書写1, 2, 3 (光村図書) | 新基礎の学習3 (新学社) 国語便覧 (浜島書店) | 1・3・4・5・6・7組佐藤千穂 2組佐々木華織 | 週3時間 年105時間 |

1 教科目標

- (1) 自分の考えを大切にし、目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする能力を高め、話し言葉を大切にしようとする態度を育てる。
- (2) 必要な材料をもとにして自分の考えをまとめ、的確に書き表す能力を高めるとともに、進んで書き表そうとする態度を育てる。
- (3) 様々な種類の文章を読み、内容を的確に理解する能力を高めるとともに、読書に親しみ、ものの見方や考え方を広げようとする態度を育てる。

2 評価の観点と評価方法

| 観 点 | 観 点 ご と の め あ て |
|----------|---|
| | 評 価 の 方 法 |
| 関心・意欲・態度 | 国語に関心を持ち、授業に真剣に取り組むことができる。 授業への参加姿勢、課題への取り組み方、提出物など |
| | 目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりすることができる。 授業中の発表の様子、音読や朗読、聞き取りテストなど |
| 話す・聞く力 | 様々な材料をもとに、自分の立場を明らかにして論理的に書くことができる。 定期考査、授業中のノート、意見文、夏休みの課題など |
| | 目的や意図に応じて文章を読み、効果的に活用することができる。 定期考査、授業中のノート、発表内容など |
| 書 く 力 | 漢字や言葉を正しく使うとともに、文字の配列に配慮し、調和よく書くことができる。 定期考査、漢字や文法の小テスト、書写作品など |
| | |

3 学習計画

【1学期】

| 月 | 題 材 | 時数 | 学 習 の ね ら い | 備 考 |
|----|--|----|---|--|
| 4 | ○オリエンテーション 1 深まる学びへ ・ 春に ・ 握手 | 1 | ・ 授業での準備物、約束を確認する。 | 仙台市標準学力検査 4月11日(木) 全国学力・学習状況検査 4月18日(木) |
| | | 2 | ・ 言葉に込められた筆者の思いや登場人物の心情を読み取る。 | |
| 5 | ・ 学びて時にこれを習ふ 「論語」から ・ 評価しながら聞く ・ 社会との関わりを伝えよう ・ 熟語の読み方 | 3 | ・ 音読を繰り返しながら、孔子のものの見方や考え方を読み取る。 | 1学期中間考査 6月18日(火) 第1回実力考査 7月8日(月) 第2回実力考査 8月22日(木) 1学期期末考査 9月17日(火) 18日(水) 第3回実力考査 9月25日(水) |
| | | 1 | ・ メモを取り、自分と相手の考えを比較し評価する。 | |
| 6 | ○書写 お礼状 2 視野を広げて ・ 月の起源を探る ・ 和語・漢語・外来語 | 3 | ・ 話す相手や目的を意識して話し方を工夫する。 | 1学期中間考査 6月18日(火) 第1回実力考査 7月8日(月) 第2回実力考査 8月22日(木) 1学期期末考査 9月17日(火) 18日(水) 第3回実力考査 9月25日(水) |
| | | 1 | ・ 熟語の成り立ちや読み方を理解する。 | |
| 7 | 3 言葉を見つめる ・ 俳句の可能性 俳句十六句 ・ 説得力のある考えを述べよう/弁論文を書く | 4 | ・ 構成や叙述の効果を知り、論理的な論述の特徴を考える。 | 1学期中間考査 6月18日(火) 第1回実力考査 7月8日(月) 第2回実力考査 8月22日(木) 1学期期末考査 9月17日(火) 18日(水) 第3回実力考査 9月25日(水) |
| | | 1 | ・ それぞれの語の性質や特徴を理解する。 | |
| 8 | ○ 文法 ・ すいかは幾つ必要? ○ 読書 ・ 高瀬舟 | 5 | ・ 筆者のものの見方や感じ方、表現の仕方などを読み味わう。 | 1学期中間考査 6月18日(火) 第1回実力考査 7月8日(月) 第2回実力考査 8月22日(木) 1学期期末考査 9月17日(火) 18日(水) 第3回実力考査 9月25日(水) |
| | | 2 | ・ 語句や語順を工夫して俳句を作る。 | |
| 9 | 4 状況の中で ・ 挨拶 ・ 故郷 | 5 | ・ 論理の展開を工夫し、説得力のある文章を書く。 | 1学期中間考査 6月18日(火) 第1回実力考査 7月8日(月) 第2回実力考査 8月22日(木) 1学期期末考査 9月17日(火) 18日(水) 第3回実力考査 9月25日(水) |
| | | 2 | ・ 聞き手を意識して、弁論文を書く。 | |
| 10 | ・ すいかは幾つ必要? ○ 読書 ・ 高瀬舟 | 3 | ・ 呼応の副詞を理解する。 | 1学期中間考査 6月18日(火) 第1回実力考査 7月8日(月) 第2回実力考査 8月22日(木) 1学期期末考査 9月17日(火) 18日(水) 第3回実力考査 9月25日(水) |
| | | 3 | ・ 近代文学の表現を読み味わい、感想を交流する。 | |
| 9 | 4 状況の中で ・ 挨拶 ・ 故郷 | 2 | ・ 情景や人物を描写する語句や表現に着目し、そこに暗示されていることや心情を読み取る。 | 1学期中間考査 6月18日(火) 第1回実力考査 7月8日(月) 第2回実力考査 8月22日(木) 1学期期末考査 9月17日(火) 18日(水) 第3回実力考査 9月25日(水) |
| | | 2 | ・ 二つの社説を比較して読み、論理の展開の仕方について考える。 | |
| 10 | ・ 新聞の社説を比較して読もう。 | 4 | ・ 二つの社説を比較して読み、論理の展開の仕方について考える。 | 1学期中間考査 6月18日(火) 第1回実力考査 7月8日(月) 第2回実力考査 8月22日(木) 1学期期末考査 9月17日(火) 18日(水) 第3回実力考査 9月25日(水) |
| | | 3 | ・ 二つの社説を比較して読み、論理の展開の仕方について考える。 | |

【2学期】

| 月 | 題 材 | 時数 | 学 習 の ね ら い | 備 考 |
|----|------------------|----|---|------------|
| 10 | ・ 慣用句・ことわざ・故事成語 | 2 | ・ 慣用句・ことわざ・故事成語を覚える。 | 読書感想文コンクール |
| | ・ 漢字の造語力 | 1 | ・ 漢字の造語力について理解する。 | 第4回実力考査 |
| 5 | いにしえの心と語らう | | ・ 表現の特徴や言葉遣いに注意しながら音読し、古典の世界に親しむ。 | 10月18日(金) |
| | ・ 古今和歌集 仮名序 | 2 | ・ 昔の人のものの見方や感じ方を捉え、好きな歌の鑑賞文を書く。 | |
| 11 | ・ 君待つと | 6 | ・ 芭蕉や作品に関心を持って読み、作者の生き方や考え方について、自分の考えを持つ。 | 2学期中間考査 |
| | 万葉・古今・新古今 | | ・ ささまざまな古典作品を読み味わう。 | 11月 5日(火) |
| | ・ 夏草「おくのほそ道」から | 4 | ・ 筆者の考えを表す語句や論理の展開に着目して主張を捉える。 | |
| | ・ 古典を心の中に | 3 | ・ 社会生活の中から課題を見つけ、その解決に向けて説得力のある提案をする。 | |
| 6 | 論旨を捉えて | | ・ 文語定型詩のリズムを味わい、表現に込められた意味を読み取る。 | |
| | ・ 作られた「物語」を超えて | 4 | ・ 「ない」の文法上の違いを理解し、品詞の判別をする。 | |
| | ・ 話し合って提案をまとめよう | 5 | ・ 全体の調和や筆脈に注意し、行書の特徴を生かして書く。 | |
| | ・ 初恋 | 2 | ・ ヘスースの生き方について考えを持つ。 | |
| 12 | ○ 文法 | | ・ 論理の展開を押さえて筆者の主張を捉え、自分の意見を持つ。 | 第5回実力考査 |
| | ・ 「ない」の違いがわからない? | 2 | ・ 詩に込められた作者の思いを読み取り、自分の意見を持つ。 | 1月9日(木) |
| | ○ 書写「書きぞめ」 | 8 | ・ 問題に取り組みながら、三年間の漢字のまとめをする。 | 校内書きぞめ展 |
| | ○ 読書 | | ・ 問題演習で、実践に即した力を付ける。 | |
| | ・ エルサルバドルの少女 | | | |
| | ヘスース | | | |
| 7 | 未来に向かって | 2 | | |
| 1 | ・ 誰かの代わりに | 2 | | |
| | ・ わたしを束ねないで | 2 | | |
| | ・ 漢字のまとめ | 5 | | |
| 2 | ・ 問題演習 | 4 | | 学年末考査 |
| 3 | ・ 課題作文 | 4 | | 2月12日(水) |
| | | | | 13日(木) |

4 授業への取り組み方, 準備物

- ・ 1時間ごとの課題やねらいをしっかりと確認して授業に臨むことが大切です。
- ・ 言葉や表現をもとに、自分で考えたり想像したりすることが重要です。
- ・ 忘れ物をしないように気を付け、提出物の期限を守るよう心掛けましょう。
- ・ 友達の発表をしっかりと聞いて、自分の考えと比べたり広げたりしましょう。
- ・ 黒板に書かれたものをノートに写すことだけに集中しないようにしましょう。
- ・ 常に国語辞書を準備し、活用することで語彙力が向上します。

○ 準備物

教科書, ノート, ワーク, ファイル, 国語辞典 → 5点セット

- ・ 他に題材によって、国語便覧が必要です。(授業で指示します。)
- ・ ノートは通常のものでB5版をすすめます。(ルーズリーフは使わない。)

5 家庭での学習方法

- (1) 授業で配付される漢字練習プリントを丁寧に練習しましょう。別に漢字練習ノートを準備すると定着率が向上します。ただ回数をこなすだけでなく、他の言葉と関連させて覚えることで語彙力が向上します。
- (2) 教科書をしっかりと読みましょう。読めないところがなくなるまで、できるだけ声を出して読みましょう。意味が分からないものは、積極的に調べましょう。
- (3) 新聞や本など、活字を読む習慣を付けましょう。そして、自分がどう感じたか、どう考えるかを簡潔に頭の中でまとめる習慣を付けましょう。
- (4) ワークブックの問題を丁寧に解きましょう。しっかりと考えて記入することが大切です。勘やだいたいでなく、自分なりの根拠をきちんと持って解きましょう。
- (5) どんな力を付けたのか、自分でしっかりと考えましょう。国語という教科は範囲が広いのです。どんな力を付けたのかによって、勉強の仕方も変わります。困ったときは、担当の先生に必ず相談してください。